



第61号





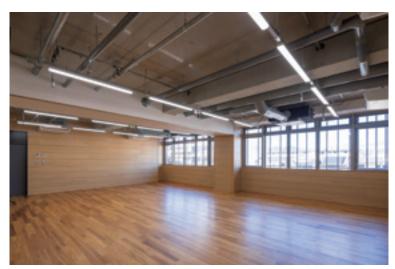
一般社団法人 京都府空調衛生工業協会



外観 正面



障害福祉エリア 1階



児童福祉エリア 3階

COCO・てらす とは

からだの動きに障害のある方の専門相談、地域リハビリテーションの推進を行う「地域リハビリテーション推進センター」、精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談等を受ける「こころの健康増進センター」及び子どもの養護、虐待、こころやからだの発達等に関する相談等を受けて支援する「児童福祉センター」の一体化施設。

- ①地域リハビリテーション推進センター
- ②こころの健康増進センター
- ③児童福祉センター

建築主:京都市

所 在 地:京都市中京区壬生東高田町1番地の15、1番地の20

構 造:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上5階

敷地面積:5,970.81m² 建築面積:3,484.03m² 延床面積:12,685.50m²

工 期:令和4年1月4日~令和5年10月3日

建

物

概

要

古都第61	号
目	次

I	新	年の	ごあ	L	12	つ

2

創立 50 年への "Revolution"

一般社団法人 京都府空調衛生工業協会 会長 石 倉 宏

新年のごあいさつ

国土交通省 近畿地方整備局 営繕部長 中 山 義 章

京都からいのち輝く未来を切り拓く

京都府知事 西 脇 隆 俊

~京都のまちを未来に繋ぐ~

京都市長 松 井 孝 治

新年のご挨拶

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 会長 藤 澤 一 郎

Ⅱ 行事紹介

7

1. 令和7年新年互礼会

Ⅲ 事業活動報告

8

- 1. 京都市との意見交換会
- 2. 京都府との意見交換会
- 3. 安全パトロール

IV 各委員長ご挨拶

7

- 1. 総務委員会
- 2. 広報委員会
- 3. 環境技術委員会
- 4. 安全意識拡張委員会
- 5. 組織活性化委員会

V 日空衛 2025 空調衛生工事業の取り組み

13

中期ビジョン「6つの重点項目」

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会

VI 話 題

18

感謝のキャッチボールが幸せのホームランとなる

三和管工株式会社 石 倉 大 督

VⅢ 会員情報

19

高木理事『建設マスター』受賞

Ⅷ 編集後記

19

I 新年のごあいさつ



創立50年への"Revolution"

一般社団法人 京都府空調衛生工業協会

会 長 石 倉 宏

あけましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申 し上げます。

昨年元日に発生した能登半島地震や豪雨の度重なる被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げますと共に、一刻も早い復旧と復興を願っています。そのためには、災害廃棄物処理の加速化、公営住宅の建設などの生活再建を早急に行うことが必要であります。自然災害の多い日本には防災・減災、国土強靭化を着実に推進しなければなりません。私たち地域建設産業には、インフラの整備や、維持管理を支えるとともに、災害時には最前線で安全・安心の確保を担う「地域の守り手」としての役割があります。

一方、空調衛生事業においても社会基盤を支える重要な役割を担っており、その期待はコロナ禍を機に益々高まってきていると考えています。私たちは、生活環境の改善、産業分野の環境創造、防災機能の強化など様々な使命を持ち企業活動に尽力しております。現在、働き方改革、担い手不足、デジタル技術への適応、地球温暖化対策など様々な問題が山積しており社会的なニーズに応えながらその対応も進めなければなりません。「顧客満足度の向上」を最大の目的として邁進してまいります。

昨年3月14日に創立30周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆さまのお陰と喜んでおります。しかし、諸手を挙げて喜んでいる場合でもありません。それは人手が足らない現在、残業時間の上限規制が適用され、人手不足の懸念が増す2024年問題の影響で、竣工引き渡しに遅延も生じかねない状況にあります。若手入職者の争奪戦が各産業で繰り広げられ、「鉄は熱いうちに打て」との思いで建設業の「面白い」、「楽しい」、「ワクワク」を伝えようと小学4年生を対象に出前授業を考えております。建設産業で働く人が将来、"絶滅危惧種"にならないためにも必死で取り組んでまいります。

会員一同、建設産業界の発展のため意識を高め活力に満ちあふれた産業になるよう努めてまいります。それには "Revolution"、革命しかありません。「今日のふしぎは明日のふつう」と言われるような日進月歩の現在。革命的変化が組織の生き残る道 否! 発展する道だと考えます。創意工夫と団結力で力強い有益性のある組織にしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 中山 義章

明けましておめでとうございます。

一般社団法人京都府空調衛生工業協会並びに会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より官庁営繕事業の推進にあたり、格段のご支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、能登半島地震にはじまり、8月8日に日向灘で発生した地震を受け、 初めての南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されるなど、近年激甚化、頻発化 する自然災害に対する安全・安心の確保がますます重要となっています。

また、今後、高度経済成長期に整備された官庁施設の老朽化が進む中で、計画的かつ効率的に老朽化対策を進めることが求められています。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、30年度までには新築建築物の平均で ZEB Ready 相当となることを目指すとされ、営繕部においては新築事業について原則 ZEB Oriented 相当以上を目指して整備を進めています。建物自体の断熱性の向上・日射負荷抑制などはもちろんのこと、高効率な設備システム(アクティブ技術)の採用、自然エネルギーや太陽光・地中熱利用等の創エネ技術の採用などが重要となっており、とりわけ建築設備分野で先導的な役割を担い、各種ノウハウを培われてきた皆様の技術力に大いに期待するとともに、その果たすべき役割もますます大きくなっているものと考えております。

さて、建設業界では、人材不足や高齢化などのさまざまな課題を抱えるなか、昨年6月には、持続可能な建設業の実現と、そのために必要な担い手の確保を目的として、いわゆる「担い手3法」が改正されたところです。

近畿地方整備局営繕部においても、「生産性向上」や「働き方改革」を一層進め、労働環境を改善し、やりがいと達成感のある「建設業界」となるよう努めていきたいと考えております。

営繕事業における働き方改革としては、時間外労働の上限規制や猛暑による作業不能日を 考慮した適正な工期設定、週休2日の推進のほか、現場実態を反映した適正な予定価格の算 定や必要な契約変更の円滑な実施等に取り組んでおり、円滑な事業推進による質の高い官庁 施設の整備を着実に進めて参ります。

また、営繕工事では令和5年度より、全ての新営設計業務及び新営工事の「BIM」活用において「EIR(発注者情報要件)」を原則適用とし、更なる活用を図ることとしており、昨年10月にはその理解の促進を図るため「営繕BIMモデル」を公開しました。

引き続き、時代の要請にこたえる施設整備を行うための環境整備に日々努力を重ね、関係 省庁や地方公共団体と共有することで普及につなげてまいりたいと考えております。

最後になりますが、空調衛生工事の重要な担い手である皆様のこれまでのご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後とも業界がより一層発展されることを期待し、また、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



京都からいのち輝く未来を切り拓く

京都府知事 西脇隆俊

明けましておめでとうございます。一般社団法人京都府空調衛生工業協会の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、8月には初めて南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。改めて「危機管理」がいかに行政における根幹的な役割であるか、ということを痛感した一年であり、新しく整備した常設の危機管理センターを拠点として、全ての営みの土台となる府民の皆さまの安心・安全の確保に全力で取り組んでまいります。一方で、昨年は府立植物園や京都丹後鉄道・宮津線が100周年を迎えるとともに、国内最大規模の国際スタートアップカンファレンス「IVS」を2年連続で京都で盛大に開催し、次の100年に向けて多様な価値を生み出していく新たな一歩となった一年でもありました。

「万巻の書を読み、万里の道を往く」。これは「最後の文人画家」と称された富岡鉄斎の座右の銘です。書物を読み各地を巡って多くの事象に触れることを実践した彼は、その経験の中から多様な価値を見出しました。都として交流の中心地であった京都には、鉄斎のような人々や文物が行き交い、そうした交流の中から人々の心の発露が文化という価値となって、京都から各地へもたらされました。新しい価値は絶え間のない交流から生まれます。文化庁とも手を携えつつ府内各地の多様な文化の掘り起こしや磨き上げを行い、京都が守ってきた「人のつながり」を大切に、誰もが未来に夢や希望を持てる「あたたかい京都づくり」をさらに進めてまいります。

さあ、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。日本における最初の博覧会が1871年にここ京都で開かれて以来一世紀半。今も昔もイノベーションが京都で生まれ続けているのは、技術の進歩を人々の幸せに結び付ける文化と心根が京都に息づいているからにほかなりません。今こそ私たちが大切に受け継いできた「継承」と「創造」の精神で新しい価値を生み出し、世界の人々を府内各地へいざない、大きな交流をつくり出すことで、京都からいのち輝く未来を切り拓きたいと考えております。

今年は、再生と変化を象徴する巳年。時流を柔軟に捉え、努力を重ねながら、皆さまと共 に進んでまいる所存です。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新 年のごあいさつといたします。



~京都のまちを未来に繋ぐ~

京都市長 松 井 孝 治

あけまして、おめでとうございます。 新たな年の始まりに、皆様の御多幸をお祈りいたします。

市長就任から、間もなく1年が経とうとしています。この間、「市民対話会議」を開催し、様々な立場の皆様と直接、対話するとともに、時間の許す限り京都のまちを歩き、京都に暮らし、働く方々との出会いを通じて、まちのあり様を私なりに見つめ直してきました。

京都の特性とも言える「まち柄」を確認する中で見えてきたのは、京都の課題と大きな可能性です。

地域コミュニティや文化、伝統など、京都を支えてくださっている担い手の減少や、就職期や結婚・子育て期の方々の市外流出、一部の観光地での混雑やマナーなどの観光課題、更にはオフィス空間の不足等といったまちの課題を改めて認識しました。

一方で、京都が受け継ぐ文化や価値観を魅力に感じ、多彩な人々が訪れていることや、発展に向けたポテンシャルのあるエリアの存在、そして、まちづくりの現場で活躍する大学生などの若者の姿などに大きな可能性を感じています。京都で育まれてきた自治の伝統と心意気を生かし、まちを次代に繋いでいくためには、人と人との垣根を低くし、多彩な担い手を結び付けていくことが必要です。

昨年は、京都市の喫緊の課題である人口流出を抑制するため、若者・子育て世帯の定住を 促進する「京都安心すまい応援金」を創設するとともに、観光混雑対策として全国初の「観 光特急バス」の運行開始など、これからのまちづくりの芽出しとなる事業を展開しました。 更には、京都の「まち柄」など本質的な価値や強みを継承・発展し、令和9年度までに取 り組む政策等をまとめた「新京都戦略(骨子)」をお示ししたところです。

今年の干支は乙巳(きのとみ)です。努力を重ねながら物事を安定させていく意味が込められています。これまでの取組の芽吹きを大きく育てていくため、令和7年度は、新京都戦略に基づき、多彩な人々が集い、誰もが個性を生かして活躍できる、すべての人々に「居場所」と「出番」のある社会の実現に全力で取り組んでまいります。

現在、京都市のまちの未来像となる「長期ビジョン」の策定に向けた取組も進めています。 これからの時代を担う若者はもちろんのこと、京都で働き、学び、憩う多様な市民の皆様に 「自分ごと」として京都の未来を考えていただき、多くの声をつないで未来を構想してまい りますので、是非、皆様の思いをお聞かせください。

松井孝治



新年のご挨拶

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会

会 長藤澤一郎

新年明けましておめでとうございます。 令和7年の年頭に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は能登半島では元日早々の地震に加え、9月には豪雨により震災被害に追い打ちをかけるような被害も発生しています。これらの災害により被災された方々に対しまして、心よりのお見舞いとともに一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、我が国の経済は、3月に日銀が17年振りにマイナス金利を解除し、賃上げに向けた政府・産業界の取り組みと相まって、物価上昇と金利のある普通の経済に戻ることが期待されましたが、賃金は上がったものの、それを上回る物価上昇により実質賃金のマイナスが継続し、残念ながらデフレからの完全脱却は未だ道半ばという結果でした。経済以外では、7月から9月にパリでオリンピック・パラリンピックが開催され、日本人選手が大活躍しましたが、会員企業の三建設備工業の草場選手が車いすラグビーに出場し、金メダルを獲得するという大変嬉しいニュースもありました。その他、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞、MLBの大谷選手が史上初の50-50の達成により3度目のMVP受賞等々記憶に残る出来事もあった一方、昨年の夏も災害級の猛暑が連日続き、記録的な豪雨が各地を襲いました。政治面では、10月に岸田内閣に代わり石破内閣が発足しましたが、月末の総選挙の結果、少数与党となったほか、アメリカではトランプ氏が大統領に返り咲くことになりました。

空衛工事業界についてみると、4月からは時間外労働の上限規制が適用となり、これまで様々な準備をしてきたものの、好調な受注が続いているだけに、構造的な人手不足も重なって、この一年会員企業の皆様は難しい舵取りを強いられたことと思います。最近、資材価格の高騰や労務費の上昇により、民間の設備投資で一部先送りや中止がみられますが、全体としてはタイトな需給環境が継続しています。加えて、今年度から防衛省の自衛隊施設の強靭化に向けた工事発注が本格化するとともに、年末には、石破総理が防災対策として、避難所となる学校体育館の空調整備のペースを2倍に加速するという方針を示しています。我々業界としては、我が国の産業基盤を支え、国民の安心・安全を守るためにも、これらの期待に応えていく必要があります。そのためにも、働き方改革を更に推進し、将来の担い手の確保に努めていくことが求められています。今年度末には、「働き方改革の推進に関する行動計画」を改定し、業界を挙げて長時間労働を前提とした労働慣行からの脱却を図り、実労働時間の短縮とともに、施工現場の土日閉所の実現に努めることとしています。また、国においても、6月に建設業法等が改正され、昨年末には価格転嫁協議の円滑化ルール、現場技術者専任義務の合理化関連の規定が施行されるとともに、今年末までに中建審による「労務費の基準」の作成・勧告に基づく労働者の処遇改善関連の規定の施行が予定されています。

空調衛生工事業は、設備の設計、施工、運転管理から廃棄に至る活動を通じて、省エネ、省 CO_2 を推進し、脱炭素社会づくりを目に見える形で先導し、地球環境の保全に貢献することが求められています。日空衛では、我が国の 2050 年のカーボンニュートラルの実現に貢献できるよう 5 月に「空調衛生工事業のカーボンニュートラル行動計画」を策定し、現在、2030 年に向けたロードマップを作成中です。会員企業の皆様の CO_2 排出量の算定、削減目標の設定等の取り組みに期待するものであります。

また、10月の全国会議では、空調衛生工事業のあるべき姿として「日空衛 2025」を策定・公表しました。今後、持続可能な社会への貢献、魅力ある空調衛生工事業への挑戦を目指し、新4Kの達成、BIMの普及、CCUSの活用など中期ビジョンに盛り込まれた様々な取り組みを推進することとしています。

最後に、昨年中は協会運営に当たりまして、役員、諮問委員をはじめ会員の皆様のご協力を賜り心から感謝申し上げます。本年は、第42期を迎えることとなります。日空衛としては、新たな中期ビジョンに基づき業界の将来を見据えた活動を推進してまいりたいと考えております。

本年も業界発展のため、会員の皆様と一丸となって取り組んでまいります。会員各位の協会活動への積極的なご参加、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

Ⅱ 行 事 紹 介

1. 令和7年新年互礼会

令和7年1月10日(金)午後6時30分よりホテルオークラ京都において、多数のご来賓の皆さまをお迎えし、会員・賛助会員も含めて109名参加のもと、恒例の令和7年新年互礼会を開催いたしました。

冒頭の石倉会長の年頭挨拶に続き、参議院議員吉井章様、京都府建設交通部長石井宏明様、 京都市都市計画局長籏哲也様よりご祝辞をいただきました。この後、京都市上下水道局長 吉川雅則様のご発声で乾杯し、開会いたしました。

TrioChante (トリオシャンテ)の生演奏を観賞しながらのお食事、ご歓談に会場の雰囲気も大いに盛り上がり、山本相談役の閉会挨拶をもって今年の新年互礼会も大盛況のうちに閉会いたしました。



会長挨拶



吉井参議院議員 祝辞 (河田秘書代読)



石井京都府建設交通部長 祝辞 (山崎営繕課長代読)



簱京都市都市計画局長 祝辞



吉川京都市上下水道局長 乾杯挨拶



会場風景①



会場風景②



山本相談役 閉会の辞

Ⅲ 事業活動報告

1. 京都市との意見交換会

(1) 日 時:令和6年8月21日(水) 10:00~11:30(2) 場 所:京都市職員会館かもがわ2F 第5会議室

(3) 出席者

• 京都市 行財政局 管財契約部 契 約 課:下久保課長

上嶋工事契約担当課長 宮川制度担当係長 萱原工事契約係長

花吉担当職員

都市計画局 公共建築部 公共建築企画課:岡本設備企画担当課長

公共建築建設課:嶋田設備建設担当課長

野原大型施設整備担当課長

公共建築整備課:樋口課長

高見設備整備担当課長

都市企画部 都 市 総 務 課:土井設備技術担当課長

東出技術担当主任竹村技術担当職員

• 当協会 石倉会長、豊嶋副会長、八木副会長、高木理事、小林理事、小田切理事、 鎌田理事、中村理事、冨田事務局長

(4) 意見交換事項

- •協会側:①設計業務の入札について
 - ②労務に関する建築物価について
 - ③監理者の成績評定について
 - ④学校関係の改修工事について
 - (5) BCP (事業継続計画) について
 - ⑥入札決定後の積算内訳書の閲覧について
- 京都市側:①改修工事の品質向上に向けた取組について
 - ②担い手確保の取組について



石倉会長挨拶



意見交換会風景

2. 京都府との意見交換会

(1) 日 時: 令和6年8月26日(月) 13:30~15:00

(2) 場 所:京都水道会館 2F 会議室

(3) 出席者

• 京都府 建 設 交 通 部 営 繕 課:山崎課長、北村参事、今井課長補佐

指導検査課:水谷参事

住 宅 課:田中課長補佐兼建設係長

教育庁管理部 管 理 課:吉田主幹兼設備係長

当協会 石倉会長、金山副会長、八木副会長、高木理事、桑名理事、小林理事、 山口理事、小田切理事、中村理事、西脇理事、冨田事務局長

- (4) 意見交換事項
 - ①設計業務の入札について
 - ②設計図面の完成度について
 - ③労務に関する建築物価について
 - ④監理者の成績評定について
 - ⑤学校関係の改修工事について
 - ⑥総合評価加算点評価項目について
 - ⑦1等級の等級区分について



石倉会長挨拶



意見交換会風景

3. 安全パトロール

(1) 日 時:令和6年11月6日(水) 15:30~16:30

(2) 場 所:府立京都八幡高等学校南キャンパス及び府立八幡支援学校空調設備改修工事

請負会社	明和・シンテック特	定建設工事共同企業体	建築会社	無		
建物概要	地上4階・3階建 延べ床面積 5486 m ²					
パトロール実施者	空調衛生工業協会(安全意識拡張委員会) ロール実施者 小林委員長、中村副委員長、井上委員、川島委員、 北委員(代理:濱口)、宍戸委員、高下委員、毛利委員					
パトロール立会者	現場代理人:垣江竜太 監理技術者:原田高史					
出来高	93 %	当日の作業人員	2名			
当日の主な作業	室外機周り保温					



現場確認①



現場確認②



現場確認③



現場確認④

IV 各委員長ご挨拶

1. 総務委員会

委員長 高木 公哉

新年あけましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶び申し上げます。会員の皆様また関係各位の方々には旧年中格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

今年一年の協会及び総務委員会の主な活動報告としまして、毎月の総務委員会及び理事会を中心に諸官庁との意見交換会、各種関係団体との意見交流など建設産業界の将来を考えた事業や交流を図れたと思います。

また昨年度に引き続き京都市様主催の市役所と業界内の若手職員、技術者との意見交流会にも参加させていただきまして交流を深めさせていただくことが出来ました。2025年問題もありますが、現在業界は時代変革期の中間くらいにいるような気がしております。人手不足や止まらない仕入れ価格高騰、倒産数が過去最高のペースで上昇中など時代が動いているからこそ起こっていると私は考えております。このような時は前を向いて前進している人こそが、次の時代へ入っていくことが出来ると思います。協会、総務委員会としましても活動や計画を通して縁の下から支え、道しるべの一つにでもなれますよう精進して参りたいと考えております。皆様のご協力の程宜しくお願いいたします。

本年も一年お世話になります。

2. 広報委員会

委員長 山口 正宏

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年度は、石川県能登地方を震源とする地震災害に始まり、日航機と海保機が羽田で衝突、 炎上、政治資金問題発覚、恒久的な物価の上昇などマイナス面が多い一年であったような気 がします。2025年におきましてはいっそうの経済発展を願うばかりです。

本年におきましても季刊誌「古都」61号の発刊に始まり昨年と同様の委員会活動をさせていただきますので関係各位様のご協力よろしくお願いいたします。

3. 環境技術委員会

委員長 桑名 英二

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年より大きな課題であります労働時間規制、ならびに長年の課題であります人手不足と、 私共を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

環境技術委員会の活動につきましては、会員各社様のご支援、ご協力により徐々にではありますがコロナ禍以前に戻ってまいりました。今後につきましても、皆様方の企業力向上に少しでもお役立て出来るよう活動してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様、新春あけましておめでとうございます。

平素より京都府空調衛生工業協会の活動へご理解とご協力をいただきありがとうございます。そして、本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

さて、未だ物価高騰による市場掲示の疲弊は深刻です。一方では日本の株価はバブル崩壊後の高値を更新するなど勢い付いており日本経済そのものが混沌としています。さらに長引くウクライナ危機など人々の暮らしに大きな影響を及ぼす事態も懸念されます。

そんな中でも関西において大阪・関西万博の開催を控え相乗効果による経済の活性化も期待されており動向を注目したいところであります。私たち安全意識拡張委員会としてましても、有事の際の危機管理ネットワークも京都市役所様との連携を図り推し進めています。単なる安否確認のネットワークだけでなく、その後の情報収集や災害復旧に尽力できる様に拡張をしていく考えをしています。

また、今年も京都府京都市の案件への安全パトロールを進めて行きたいと考えています。 現場の大きい少ないに関わらず未だ多い墜落転落災害を含め建設三大災害をなくしていく認 識を皆様に持っていただきたく思っています。

昨年の安全パトロールでは多くの委員様の参加により実施しました。ご意見をいただいた のですが他の業者様の安全管理意識がどの様なものか注目されていたことには業界の安全意 識の高さを注目しました。何よりも委員会内の親睦を深めて行きたいと考えています。

少しづつ充実した内容に推進できる様に努力して行きますのでどうかお力添えをお願いします。

略儀ながら新年の挨拶とさせていただきます。

5. 組織活性化委員会

委員長 豊嶋 一俊

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年はお世話になり、心より感謝申し上げます。本年も、皆様と共により一層の発展と成果を目指して努力してまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組織活性化委員会として下記を担当します。

- ・会員増強、啓発に関する事項
- 働き方改革に関する調査研究に関する事項
- 建設キャリアアップシステムに関する調査研究に関する事項
- 京都府北部・南部地域企業との懇談会開催に関する事項

どうぞ本年も宜しくお願いいたします。

V 情 報



新たな中期ビジョン

日空衛 2025

AIR-CONDITIONING & PLUMBING CONTRACTORS ASSOCIATION OF JAPAN

持続可能な社会への貢献、魅力ある空調衛生工事業への挑戦!

2024年10月

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会

日空衛 2025 6つの重点項目

1 2050 年カーボンニュートラルへの貢献

Contribution

1. ZEB・ZEH 基準の省エネルギー技術の開発

ネット・ゼロに空間衛生工事分野の技術で貢献する。

▶省エネルギーおよび技術開発の推進 ▶既存建築物 (ストック) の ZEB 化の推進 ▶「実績 ZEB」の認知・普及

2. 「建物のライフサイクル」 を通しての技術貢献

国内では、建築物等から排出されるホールライフカーボンのうち、エンボディドカーボンが 20% 強、 オペレーショナルカーボンが 80% 弱と試算されている。

- ▶オペレーショナルカーボン: ZEB の普及、チューニングや運用改善など総合提案力の強化
- ▶エンボディドカーボン: BIM の活用、施工技術開発の推進
- ▶建設から維持管理までをトータルにコーディネイト

3. 脱炭素社会への先導役として

▶フロンの適正な回収と処理の徹底
▶脱炭素社会に向けた役割の自覚と率先重範

2 魅力ある空調衛生工事業への変革

Transformation

1. 労働環境の改善(3Kから新4Kへ)

- ▶日空衛と会員企業が一体となった働き方改革の推進と定着化
- ▶作業所の働きやすい労働環境の構築(安心して快適に働ける職場づくり)
- ▶3Kからの訳却と新4K(給与が良い・休暇が取れる・希望が持てる・かっこいい)の産業を目指した取り組みの推進

2. 誇りが持てる産業であることの発信

- ▶環境創造を通して果たす空間衛生工事業の意義と役割の認識
- ▶若年層を意識した情報発信の強化による入職促進

3. 多様な人材の活躍支援

- ▶企業の持続的な成長を目指した経営戦略・人材戦略の見直し
- ▶女性が長期的に活躍できる支援体制の構築(個々の特性を生かすことのできる職種など)
- ▶国内・国外の大学出身者やその他の高度外国人材の積極的な採用検討
- ▶高齢者や弾がい者、他業種からの転職者など、多様な人材の特性に応じた活躍支援の推進
- ▶空調衛生工事業の持続的な発展に向けた育成方針の策定と資本投入

4. 技能労働者の処遇改善

- ▶重層下請構造による弊害の改善に向けた労務費の適切な価格交渉・価格転嫁への取り組み推進
- ▶適切な工期設定および契約変更、働き方改革関連法の遵守に向けた関連機関・団体への要請
- ▶技能労働者の処遇改善と若手入職者の増加を目指したCCUSの有効活用および普及促進

3 生産性向上への挑戦

1. 建設 DX の推進

- ▶BIMの活用により、設計図書の不整合による多大な変更業務を削減
- ▶工事の各工程におけるBIMデータの一元管理による業務効率と生産性の向上
- ▶BIM業務にかかわる契約形態や著作権・使用権の明確化

2. 企業のDX人材の育成

- ▶ICT・AI による緊
 練者の技術を可視化・数値化して、DX により技術を伝承
- ▶ICT・AI 技術を活用できる DX 人材を積極的に採用・育成する企業体制の構築

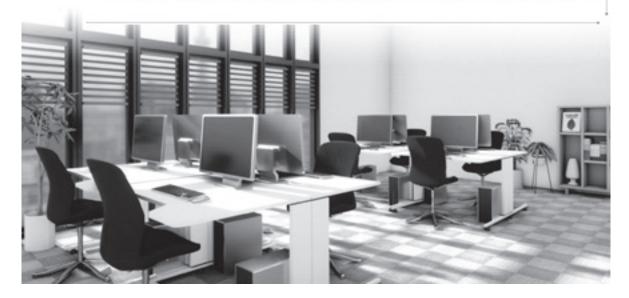
Challenge

3. 現場作業を削減するための取り組み

- ▶オフサイト生産により、建設現場へ資機材の共同配送や大量輸送を実現
- ▶会員各社のオフサイト拠点の共同利用・共同開発、目標設定などを模索し、業界全体の現場作業の最適化

4. 建設現場における自動化・ロボット化の推進

▶「自走式風量測定ロボット」や「自走式照度測定ロボット」などによる、作業員の負担を軽減、生産性を向上



4 健全な経営環境の構築

1. 適正かつ柔軟な工期の設定

- ▶時間外労働の上限規制により、適正工期・適正価格を確保
- ▶概成工期の設定を行い、試運転調整の期間を確保

2. 契約の透明化

- ▶民間工事におけるスライド条項の適用を推進
- ▶設計変更の対応、労務費の適切な転嫁など、業界全体で実行
- ▶ADR や中粉審(中央建設工事粉争審査会)等の活用による、契約の透明化を推進

Establishment

3. 直接(分離)発注および許可業種区分見直しの推進

- ▶品質およびコスト透明性の確保、顧客滿足度向上の観点から、直接(分離)発注を推進
- ▶許可業種区分の見直しにより、社会的認知度の向上と業種区分の整合を要請 管工事から「機械設備一式工事」または「空調衛生工事」へ



5 社会的信頼の確保と発信

Ensurina

- 1. コンプライアンスの理解
- ▶コンプライアンスの重要性 ▶信頼失墜の防止 ▶情報管理と守秘義務 ▶不正競争防止法の重要性
- 2. 独占禁止法・入札談合等関与行為防止法の遵守
- ▶談合と法的規制 ▶官製談合防止法の注意点 ▶重大な違反行為と再発防止
- 3. コーポレートガバナンスの強化
- ▶経営の透明性の確保
 ▶ステークホルダーの権利・立場の尊重
 ▶重大な違反行為と再発防止
- ▶長期的な視点で俯瞰
- 4. 情報公開
- ▶透明性の確保 ▶企業価値向上への影響
- 5. 人権の尊重
- ▶人権の尊重と公正な社会構築 ▶差別の撤廃と理解 ▶安全と健康への配慮
- ▶人権尊重の効果と責任

6 業界全体の活性化に向けた取り組み

Attempt

大企業とは異なる中小会員企業の事情に応じた取り組みを推進する。

- 1. 公共工事の直接(分離)発注の推進
- ▶分離発注案件への積極的な応札姿勢
 ▶自治体の技術職員不足に対応した取り組みの推進
- ▶契約関係の変化に対応した元請にこだわらない事業運営の検討
- ▶PFI・リース方式に対し、地元企業の受注機会確保の取り組みの推進
- 2. 社会資本整備の担い手であることの情報発信
- ▶関係団体との連携による地域の防災活動の担い手としての PR
- 3. 大手との違いを訴求した担い手の確保
- ▶地方の中小企業としてのメリット、仕事の達成感の訴求 ▶他産業に引けを取らない労働環境、処遇の改善
- ▶これまで施工現場で働く機会のなかった人材の活躍推進
 ▶工業高校の設備関係学科との連携強化
- 4. 事業承継の取り組み
- ▶雇用と技術を守るための取り組みの推進 ▶会員企業の求めに応じた業界団体の支援第の検討
- 5. カーボンニュートラルへの貢献
- ▶早急なスコープ1および2の削減目標の設定
 ▶環境経営に取り組みことによる差別化

M 話

題

感謝のキャッチボールが幸せのホームランとなる

三和管工株式会社 石 倉 大 督

私にとっての一番の話題!!

令和6年1月12日に息子が誕生しました。名前は、石倉 松弥(いしくら しょうや)と言います。名前は、松竹梅の松! 日本を代表する樹木であり、冬でも青々としていて、石倉の姓に相性が良い画数なため、松弥と名付けました。当初の予定日が1月9日でしたが、中々の難産でした。私としては、1月11日に京都青年会議所の新春例会の担当を任されているため、何としても10日までに産まれて欲しいと願っておりました(笑)が、思い通りにはいかないものだと痛感しました。

産まれたのはなんと、3500gのビックベイビー!! 助産婦さんが "頭の毛が見えて来ましたよ" というのでフサフサの髪なのかと思っていたら、何とキューピーみたいな髪であまり毛が生えていませんでした。何より健康な身体で産まれてきてくれたことに感謝です。今も周りの赤ちゃんより髪の毛は少なめですが、食欲旺盛でハイハイもむちゃくちゃ早いです!!

スクスクと成長し現在は、体重が 10 kg あります。このままいけば、お相撲さんも目指せます。将来は、京都青年会議所主催のわんぱく相撲京都大会に出場してくれたらうれしいです(笑)

自分自身が親の立場になって、子育ての大変さを知り、私を育ててくれた両親に感謝。出産の立会いをして、痛みに強いはずの妻がうめき声をあげていたので、母もあんなに痛い思いをして産んでくれたことに改めて感謝します。

これからも、"ありがとう"、"感謝の心"を忘れずに日々精進してまいります。



松弥 夏のご挨拶 令和6年7月21日



家族写真 令和6年10月22日 時代祭参列前(梨木神社)

Ⅲ 会 員 情 報

1. 表彰報告

高木理事『建設マスター』受賞

当協会理事の高木公哉氏(㈱高木設備 代表取締役)が、他の模範となるべき優秀 施工者として、令和6年度優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)を受賞され ました。



高木公哉 理事



国土交通大臣顕彰

Ⅷ編集後記

新年あけましておめでとうございます。

古都61号発刊にあたり、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

近年、「働き方改革」とよく耳にします。

働く人々がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現するための改革で、一億総活躍社会に向けた取り組みと定義があるようです。

この実現には、生産性の向上が必要になってきますが、われわれの属する建築業界においては「技術の向上」「段取りの向上」が不可欠で、経験を良い方向に生かす、新たなITツールを導入することなどがあげられると思います。

そして人脈つくりも大切な要素と考えます。当協会がそれらの一助となるよう、また働く方とユーザーの双方が満足できる改革つくりに向けて邁進する一年としたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(広報委員会副委員長 西村 和真)



2025年 謹賀新年

順不同

三和管工株式会社

代表取締役 石 倉

宏

〒604-8812 京都市中京区壬生相合町71番地 TEL 075-811-8246 FAX 075-801-7696

株式会社入柿水道

代表取締役 入 柿 勝 行

〒626-0033 京都府宮津市字宮村1045-1 TEL 0772-22-3809 FAX 0772-22-7118

有限会社ミヅケン

 代表取締役 会長
 奥
 村
 賢
 三

 代表取締役 社長
 清
 水
 裕
 也

〒615-0854 京都市右京区西京極堤外町1番地の7 TEL 075-322-2121 FAX 075-322-2118

日本管工業株式会社

代表取締役 奥 村 昇 三

〒604-0846 京都市中京区押小路通烏丸西入る金吹町461-2 TEL 075-221-7121 FAX 075-221-7103

三建設備工業株式会社

京滋営業所 所長 小田切太

〒600-8492 京都市下京区四条通新町東入月鉾町62番地 TEL 075-231-1350 FAX 075-231-1365

影近設備工業株式会社

代表取締役社長 影 近 義 之

〒606-8267 京都市左京区北白川西町83 TEL 075-761-8191 FAX 075-752-1794

株式会社カナヤマ建設

代表取締役 金山源 一

〒611-0043 京都府宇治市伊勢田町中ノ荒60番地15 TEL 0774-44-5533 FAX 0774-44-5534

三機工業株式会社

京都支店 支店長 鎌田 哲也

〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 (京都三井ビル) TEL 075-221-3635 FAX 075-211-5829

株式会社山本管工業

代表取締役 桑 名 英 二

〒600-8447 京都市下京区新町通松原上ル御影町462-2 TEL 075-351-1092 FAX 075-351-1704

株式会社ウォーターライン

代表取締役 小林靖生

〒601-8438 京都市南区西九条東比永城町108-4 TEL 075-672-4835 FAX 075-672-3858

株式会社高木設備

代表取締役 高 木 公 哉

〒622-0331 京都府船井郡京丹波町中台イヤ谷1番地1 TEL 0771-86-0243 FAX 0771-86-0877

株式会社トヨシマ

代表取締役 豊 嶋 一 俊

〒610-1123 京都市西京区大原野上里南ノ町175 TEL 075-331-1210 FAX 075-332-6087

西村工業株式会社

代表取締役 西村 和真

〒603-8072 京都市北区上賀茂竹ヶ鼻町6 TEL 075-721-1027 FAX 075-722-8428

株式会社西脇産業

CEO取締役 西脇 勤

〒619-1151 京都府木津川市加茂町美浪椚5番 TEL 0774-76-7070 FAX 0774-76-5199

株式会社 大 同

代表取締役 拝 師 知 行

〒615-0007 京都市右京区西院上花田町23-2 TEL 075-311-7108 FAX 075-314-0896

春日設備工業株式会社

代表取締役 八 木 啓 之

〒601-8414 京都市南区西九条蔵王町38番地 TEL 075-671-5377 FAX 075-671-5584

株式会社安田管工

代表取締役 安田浩治

〒606-8211 京都市左京区田中西大久保町14-15 TEL 075-702-2727 FAX 075-702-2900

株式会社 彩 光

代表取締役 山 口 正 宏

〒611-0043 京都府宇治市伊勢田町新中ノ荒38番地の8 TEL 0774-44-5630 FAX 0774-44-5631



ZEAS Connect

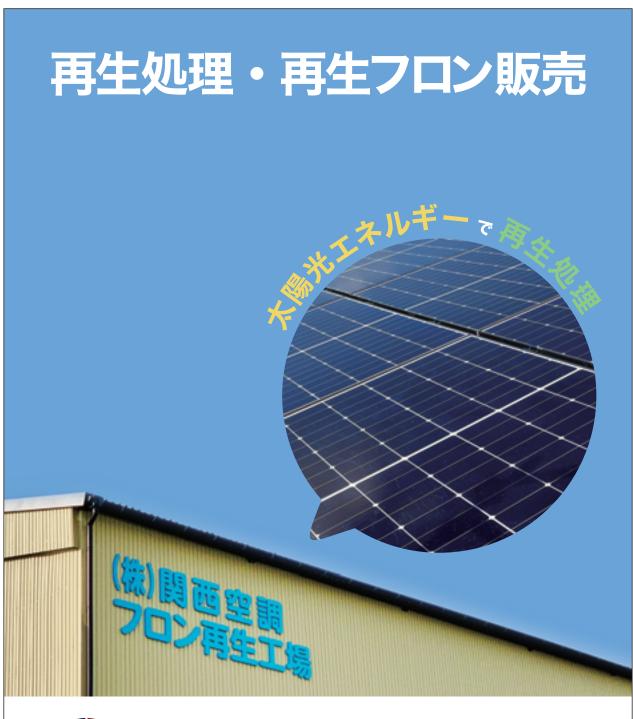














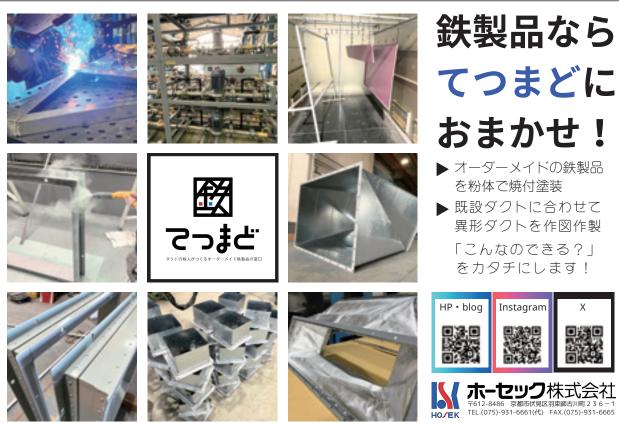


地域で回収したフロンガスは地域で再生処理



自動車や船での輸送距離を減らし、温室効果ガスの排出量を削減できます。







SLow Page

FUMITO SUZUKI

麻布台ヒルズ店

麻布台ヒルズ タワープラザ4F

京都本店

京都経済センター SUINA室町1F



麻布台ヒルズ店QR

















ウルトラファインバブルが 水まわりの掃除負担を減らし 毎日をもっと豊かに



Rinnai

リンナイ株式会社 京滋支店 〒612-8452 京都府京都市伏見区中島堀端町88 ☎075(605)4890 https://www.rinnai.co.jp

鋳鉄製マンホールフタ・ボックスの製造販売・管工機材全般



杉本商事では、各種オリジナル鋳鉄製品、ステンレス製ポックス等を製造・販売しています。さまざまな用途向けに、特別仕様にも対応いたします。

ハスキーマンホール鉄蓋は、国土交通省の仕様に則って開発した当 社オリジナルの鉄蓋です。

また、卸・販売店様向けにオリジナル製品(OEM)の製造も承っております。

(S.S)

杉本商事株式会社

伏見営業所:京都市伏見区下鳥羽広長町 163 TEL :075-603-0200 FAX:075-603-3232 URL :http://www.sugimotoshoji.co.jp E-mail:sugimoto@sugimotoshoji.co.jp

京都・滋賀の住設機器 管工機材のことなら、私たちにお任せ下さい!

京都府京都市伏見区深草西浦町8丁目133-1・2
TEL:(075)642-4121 HP:http://www.hitomi-net.jp/index.html







株式会社 井 尻 商 会

本 社 京都市下京区五条通猪熊東入柿本町618 〒600-8357 TEL(075)801-3221 FAX(075)841-9267 亀岡営業所 亀岡市大井町土田3丁目25-7 〒621-0011 TEL(0771)24-7291 FAX(0771)24-7294









業務用厨房機器販売 ステンレス板金の製造販売 学校・保育園・幼稚園給食 レストラン 病院 ホテル他 業務用総合厨房の設計施工 付帯工事 メンテナンス

株式会社 生研

〒600-8841 京都市下京区朱雀正会町28番地の7

TEL (075) 371-1651 (代) FAX (075) 371-4375

E-mail kkseiken@nifty.com https://seiken-chubou.com/



/ タカラ通商株式会社

京都上鳥羽営業所

TEL: 075-661-6373 FAX: 075-661-6374

京都の管工機材業界の発展に微力ながら お役に立たせていただきます



②・文字・かたちを工夫して見やすく・伝わりやすく

ユニバーサルデザインの印刷は

サルデザインの印刷は 株式会社 大 光 社

〒606-0864 京都市左京区下鴨高木町 39-1

TEL: 075-707-1333 FAX: 075-706-8989

https://daikosya.com







表紙の会報名「古都」は、壬生寺貫主 ((現)長老) 松浦俊海様による文字です。





会 報 「古 都」

第 61 号

令和7年1月23日 発行

発行人 石 倉 宏

一般社団法人京都府空調衛生工業協会 京都市左京区岡崎円勝寺町 1-11 (京都水道会館内 2F) TEL 075-708-5191

FAX 075 - 708 - 6817

印 刷 株式会社 大光社